



DIAMOND CROSS

西宝線（今津線）甲東園駅

西宮北口聖書集会ニュースレター 2022年3月号



西宝線は1921（大正10）年、西宮北口～宝塚間で開業しました。現在の路線名は「阪急今津線」ですが、当時は両駅の駅名から1文字ずつ取って「西宝線」でした。

宝塚を出発して仁川駅を過ぎて、西宮市に入りますと、かつて旧型車を苦しめた下り坂を駆け下りて、関西学院大学（西宮上ヶ原キャンパス）の最寄り駅である甲東園駅に至ります。

（昭和17年頃の撮影）

◆ 日曜聖書集会にぜひご来会ください。

聖書集会 毎週日曜日 朝 10:15

プログラム：賛美歌、バイブル・レクチャー
聴講無料（但し、自由献金あり）

場所アクト西宮東館6階

（阪急西宮北口駅、コープの上6Fです）

地図は下記をご覧ください

ホームページ “GOD BLESS YOU”
<http://nishikita-bible-fellowship.jimdo.com/>
詳しいこと、お問合せ先

TEL 0798-64-8150

MAIL nbc4169@gmail.com



キリスト教と戦争

平和を造る人々は、幸いである／その人たちは神の子と呼ばれる。

- マタイの福音書5章9節 -

現代日本のキリスト教界では、戦争を一切否定する平和主義こそが聖書の精神であるというような主張が前面に出されていますが、歴史的にはキリスト教と戦争の関係はそう単純なものではなく、戦争を肯定するものも含め、様々な見方がされてきました。

実際、聖書には一切の暴力を否定するように読める箇所がいくつも存在します。例えば、有名な、【あなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい】というくだりや、【平和を造る人々は、幸いである】などの記述があって、これらの記述などが、現在の日本における大多数のキリスト教的な、平和運動の思想的根拠になっています。

けれども、歴史を紐解きますと、過去の多くのキリスト教徒たちは、何らかの形で戦争なり武力を用いた争いを認めてきた、と指摘しています。ローマ・カトリック教会は公式に武力を用いた正当防衛を認めていますし、宗教改革で有名なルターも、より不正なものを罰し、平和を維持するための争いを正当化しています。

ロシアの7割およびウクライナの8割がキリスト教徒ですが、戦争に関して【これがキリスト教の考えである】という一致した見解は、残念ながらありません。キリスト教界で多く見られる平和主義も、決してキリスト教徒間の大多数の一致された意見ではなく、むしろ少数的な一解釈でしかないようです。

ただ私個人としては、クリスチャン(キリスト教徒)はイエス・キリストが教えられた如く、平和主義であってほしいと切に願います。

👉 講師紹介

主任牧師：菅原義久 1968年生まれ、北海道出身。

関西単立バプテスト神学校聖書神学科卒業。

ロング・ライフ苦楽園 芦屋別邸/ロング・ライフ韮公園(高齢者ホーム)チャプレン

さくら FM 78.7MHz【ゴスペルのちから】(土曜午後11時30分) メッセンジャー

FM aiai 82.0MHz【アマガミサミット】(第三水曜午後5時25分～) コメンテーター

牧師：亀井俊博 1942年生まれ、香川県出身。

元西宮市内高校教師 芦屋福音教会名誉牧師

A B C 福音の光ラジオ牧師 C G N T V テレビ牧師

正教師：菅原早樹 関西単立バプテスト神学校聖書クリスチャン音楽科卒業

伝道賛美家、落語家 故・露の五郎兵衛師匠の次女